

第16回 トンネル施工検討委員会シールドトンネル部会 議事概要

1. 開催日時・場所

2025年5月28日（水）10:00～12:00

JR東海品川ビル会議室

2. 出席者

委員：長岡技術科学大学名誉教授 杉本 光隆（部会長）ほか7名

※WEB参加 1名含む

・前部会長の小山幸則氏の逝去に伴い、後任を杉本光隆氏に委嘱した。

3. 事務局

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

4. 議事概要

（1）調査掘進での確認結果について

調査掘進を終えた第一首都圏トンネル新設（小野路工区）、第一中京圏トンネル新設（名城工区）において、調査掘進での確認結果をとりまとめた内容について、事務局から以下の説明を行った。

- ・泥土圧、泥土の性状、掘削土の取込み量など、施工管理上の確認結果について
- ・地表面変位、振動・騒音、地下水位など、周辺への影響の確認結果について

小野路工区については、調査掘進の途中に地表面1箇所で湧水、気泡が発生したことを踏まえ、その後は対策を実施し、湧水、気泡が発生することなく掘進を行うことができた旨、事務局から説明を行った。

委員からは、今後の本格的な掘進にあたっては調査掘進と同様に周辺への影響を確認しながら慎重に進めていくよう、助言があった。

（2）本格的な掘進での施工計画について

本格的な掘進に向けた準備の状況として、第一中京圏トンネル新設（坂下西工区）においては、亜炭採掘跡があると想定される区間での掘進への対応策を備えた今後の施工計画の内容について、また、第一首都圏トンネル新設（北品川工区）においては、調査掘進で得られた知見を踏まえた今後の施工計画の内容について、事務局から説明を行った。

委員からは、本格的な掘進が安全かつ確実に進むよう、工区の事情を踏まえて適切に状況を把握しつつ、引き続き慎重に進めていくよう、助言があった。

(3) 本格的な掘進を行っている工区について

第一首都圏トンネル新設（梶ヶ谷工区）、第一首都圏トンネル新設（東百合丘工区）における本格的な掘進の状況について、施工管理を慎重に行い、周辺への影響を確認しながら掘進を進めていることについて、事務局から説明を行った。

委員からは、今後の掘進にあたっても、引き続き慎重に進めていくよう、助言があった。